

自他の健康課題を解決しようとする力を育成する保健分野の教材開発
 —主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善支援ツール
 「保健授業プログラム」の作成と活用を通して—

研究構想図

長期研修員 寺島 賢一

自他の健康課題を解決しようとする力

主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

『保健授業プログラム』

スライド教材

問題
 日本人の死因第1位の「がん」は
**日本人の
 ?人に1人がなる
 と言われています。**

群馬県のがん検診、がん予防がん検診
 群馬県ですべてのみなさん!

“がん”
日本人の
 ?人に1人は

群馬県 がん検診受診キャンペーン
 リーフレット

**?分??秒に1人が
 「がん」で亡くなっています。(2014)**

主体性を引き出す

健康に関する身近な話題を取り上げ、当事者意識を喚起する

高血圧症とは 血圧が高い状態が長く続く症状

脂肪
 血管が脂肪でだんだんと細くなっていく中で、流れにくくなり、血圧が高い状態が長く続く。

血圧は、動脈の壁にかかる血液の圧力のこと。

対話的な学びを支える

科学的な知識及び技能を活用した対話的な学びを促す

健康な生活と疾病の予防 (3年生)

教材研究START

①単元の指導計画を確認

②流れの確認 (全17時間)

第1時

- 健康の成り立ち
 - スライド教材
 - ワークシート (教師用)
 - ワークシート (生徒用)

第2時

- 生活習慣病とその予防
 - スライド教材
 - ワークシート (教師用)
 - ワークシート (生徒用)

2年生の単元「健康と環境」も用意しています

ワークシート

教師用ワークシート

- 本時のめあて **生徒が設定すると考えられるめあて**

生活習慣病にならないためには、どうすればいいのか

- 生活習慣病の動脈硬化について調べる

対話的な学習活動を通して記述してほしい内容を明示

- 生活習慣病にならないためにはどうすればいいか **生徒が記述すると考えられるめあてに対する答え**

適度な運動
 塩分を控える
 定期健診

- 今後の生活に生かすこと

本時の振り返り

深い学びを実現する

「保健の見方・考え方」を働かせた、課題解決の場面を設定する

教師の実態

- 「保健の教材研究をする時間が足りない」
- 「保健分野において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善はどうしたらいいか？」

生徒の実態

- 「体育の授業の方が楽しい」
- 「今の自分には関係ない」



『保健授業プログラム』の活用

準備

1. ねらいとまとめの確認
2. 展開の確認
3. 対話的な学習に必要な資料の精選
4. ワークシートの印刷



保健授業プログラムを生徒の実態に合わせて変えてみよう

「スライド教材」の内容を変えてみよう
最新の新聞記事に変えよう

生徒の姿

第2時：生活習慣病とその予防

「がん」にならないためにはどうすればいいの？

主体性を引き出す場面

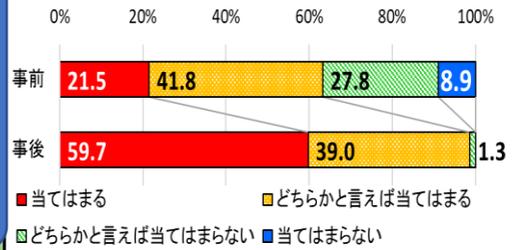
がんについて知らないと…

どちらかは「がん」になるってこと？



将来「がん」になる可能性はあるってことだよ

保健の授業では課題をもって取り組んでいますか



対話的な学びを支える場面

資料によると、高血圧症は血管内の脂肪が原因らしいよ

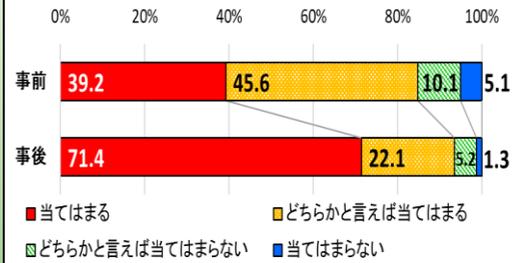
他の生活習慣病は何が原因でなるのかな？

脂肪って運動で燃焼するから、運動すればいいんじゃない？



「がん」予防には何が必要？

話し合い活動によって、自分の考えを深めたり広げたりすることができましたか



運動だけだと大変だから、脂質の多い食事を減らすのはどう？
ストレスも関係があるって聞いたことがある

深い学びを実現する場面

①めあて

「将来、生活習慣病にならないための予防法を考える」

②対話的な学習活動で分かったこと

③めあてに対する答え

生活習慣病予防10か条を実践する。

1. 適度な運動（30分／週3回）
 2. 脂質、塩分を控えめにする。
- （以下省略）

班の例（抜粋）

④生徒が書いた「今後の生活に生かすこと」

以前学習した質の良い睡眠をとるために自分たちで見付けた、寝る前のストレッチや朝起きたらカーテンを開けて日の光を浴びるといことは、続けてできている。

今回学習した自分で作った生活習慣病予防10か条も守っていこうと思った。

また、たくさんの人の意見を聞いて、運動の大切さを改めて実感できた。バランスよく生活習慣に入れていきたい。そして親が長生きをするために、家族で呼びかけあったり、一緒に運動したりしていきたい。

成果

保健授業プログラムの活用により、自ら引き寄せて考え、対話的な学びを支える十分な時間を生み出すことができた。そして、健康課題を他者との意見交流や資料の読み取り、ワークシートでまとめる活動を通して、保健の見方・考え方を働かせながら課題解決に向かうことができた。

課題

対話的な学習を支える教師のファシリテーション能力を高めていく必要がある。

提言

主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善を推進しつつ、改善した授業を基に思考力・判断力・表現力を一層重視する定期テストや評価方法を考えていく必要がある。